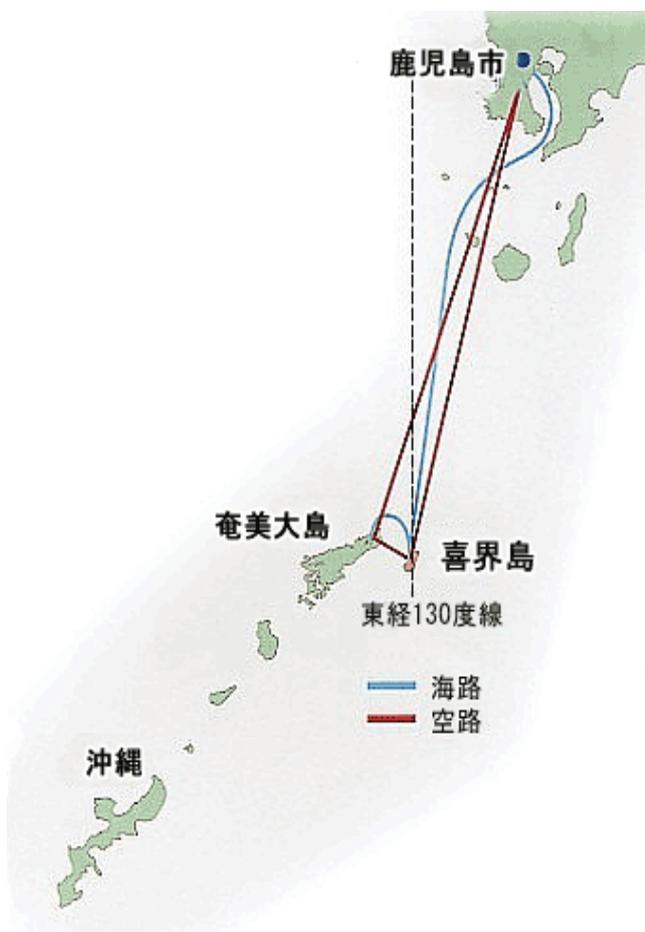


# 喜界島のきび栽培 現状と課題

鹿児島県 大島郡 喜界町  
生和糖業(株)喜界工場 原料部



- 奄美大島の北東、東経130度線上に位置する  
周囲48.6km、最高点200m程の平坦な島
- 人口 7,652人  
(平成25年9月現在)
- きび栽培戸数 662戸  
(平成24/25年期)

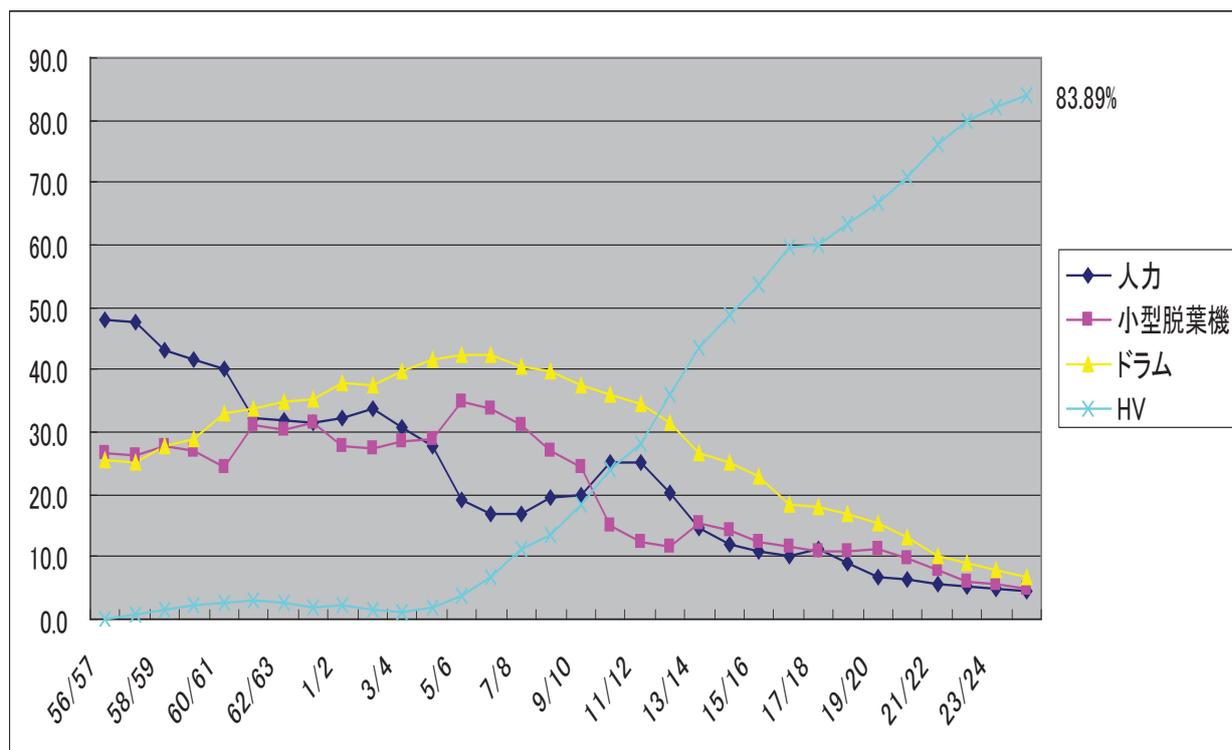
- きび栽培面積  
約1,900ha
- さとうきび、白ゴマ、  
マンゴー、トマト、  
菊などを栽培して  
いる
- 耕地面積の約8割  
程に灌水施設が  
整備済



## 栽培品種の推移

年度	01/02	14/15	15/16	16/17	17/18	18/19	19/20	20/21	21/22	22/23	23/24	24/25	
NC0310	964												
NiF 4		4	4	3									
NiF 8		945	934	854	760	770	821	848	878	812	779	724	57.5 %
F177	378	129	129	142	120	90	60	75	75	56	43	24	1.9 %
Ni 17				23	49	138	173	171	147	122	86	51	4.1 %
Ni 22							5	28	64	101	135	115	9.1 %
Ni 23							6	15	29	67	142	226	18.0 %
その他	40	28	61	67	73	76	95	60	53	71	75	119	9.5 %
合計	1,382	1,106	1,128	1,089	1,002	1,074	1,160	1,197	1,246	1,229	1,260	1,259	

## 収穫作業の推移



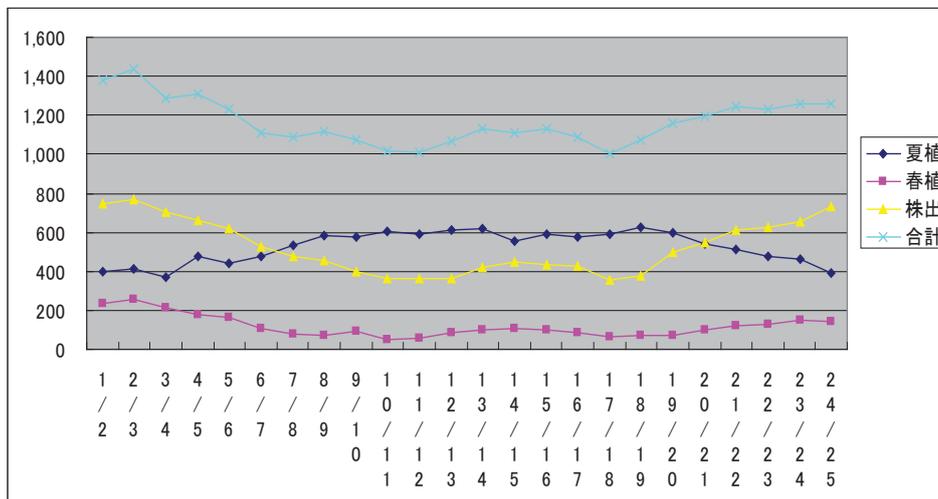
## さとうきび栽培の歴史（夏植一作の危機）

- 昭和36年から平成初期迄、株出栽培、人力及び小型脱葉機での収穫が中心であったが、平成6,7年頃～平成19年頃にかけて夏植栽培のみという生産者が増え、収穫面積が大幅に減少、生産量も減少した
- 栽培戸数の減少による一戸当たり栽培面積の増加、栽培品種の移り変わり、収穫機械の大型化などが要因と考えた

# 作型の推移 (収穫面積)

年度	S50/51	H01/02	10/11	15/16	20/21	21/22	22/23	23/24	24/25
夏植	300	399	603	591	543	511	477	460	391
春植	135	235	51	102	103	124	129	146	139
株出	928	748	363	435	551	611	623	654	729
合計	1,363	1,382	1,017	1,128	1,197	1,246	1,229	1,260	1,259

- 平成初期迄は株出栽培が多かったが、平成7/8年頃から夏植が中心になり収穫面積、生産量も減少



## さとうきび栽培の歴史 (春株体系の回復)

- 平成20年以後  
 株出面積が回復(約6割)  
 NiF8(57.5%)、Ni23(18.0%)、Ni22(9.1%)  
 HV収穫が80%を超えている  
 (稼働台数 62台・平成24/25年期)

## 現状と課題 ① 収穫面積の確保と単収向上

- 株出面積の増加で、収穫面積は1,250haまで回復した。  
現在は、株出の単収向上に重点を置いている。
- ①土造り … 堆肥、緑肥の推進として製糖工場のフィルターケーキと精脱葉処理施設から出るハカマを混ぜ合わせた堆肥を1台当り 4,500円 (3t)の内 1,500円を補助。
- ②一芽苗の推進 … 株出圃場の補植用として一芽苗を推進。  
H25年3月末は約 70,000本を無償配布。

## 現状と課題 ② 土壌病害虫防除

- メイチュウ、ハリガネムシの被害が発生
- 植付時の殺虫剤の助成と、中耕培土時の粒剤、及び乳剤の助成、使用方法の指導や推進を行なっている。  
(夏植、春植、株出、植付予定面積に対し、粒剤又は乳剤を配布。)  
特にイネ科雑草の防除を呼びかけている
- ハリガネムシトラップも継続して防除中。

## 現状と課題 ③ 雑草防除

- ハーベスタ収穫面積の増加に伴い雑草を放置する圃場が増え単収減に繋がっている。
- チラシや座談会の場で、雑草の種類による除草剤の選び方や、散布時期、散布量などを指導している。雑草の多い生産者に対しては直接指導を行ない、ハーベスタ受託組合のオペレータからも生産者への指導をお願いし、雑草防除による単収向上を呼びかけている。

## 現状と課題 ④ 生産戸数の減少

- 昭和40年代頃、最大 2,500戸以上のきび栽培農家戸数があったが、現在は670戸弱まで減少している。  
一戸当りの栽培面積が増大し、適期植付、適期管理が徹底出来なくなってきた。
- 集落営農モデル地区(城久集落)  
大規模生産者が植付、防除、収穫作業などを受託し、高齢者の栽培を助け、出来る範囲の作業は委託生産者が行なっている。

ご静聴ありがとうございました。

生和糖業(株)喜界工場 原料部